

地質ニュース

昭和59年2月 第354号 1984

ESR年代測定法の現状と将来.....	今井 浩 登一	6
地質図のコンピュータ処理.....	花岡 尚之 西川 祐司 浦井 澤 敏 小川 克郎	15
もう一つのヘリウムとメタン (その2)	福田 理	22
ハイドロフラクチュアリングと 2. マグマフラクチュアリング.....	小出 仁	35
ケニア・リフトバレー(2).....	佐藤 博之	38
地質標本館だより 「結晶のしくみ」.....	服部 仁夫 金沢 康	52
佐藤光之助 元所長 勲三等に叙せられる.....	小野 吉彦	34
地学と切手 ニュージーランドホワイトアイランド火山の切手...P. Q.		33
吉岡 YOSHIOKA.....	北村 信 沢 久 夫 大川 久	64

口 絵 大谷石採掘跡利用の(自然)地下低温倉庫 星野一男 正井義郎

編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

表紙の写真

3月号予定目次

地質標本館「結晶のしくみ」コーナーの大型水晶(表紙写真)

山梨県甲府市街地には水晶や各種宝石を売る店がたくさんある。なかでも宝石商の業界が運営する宝石会館や 甲州蔵屋敷などには 目ばかりでなく心まで奪われそうな素晴らしい宝石とその原石が展示されている。その上宝石研磨工程を実演し 製品の宝石を即売することも普通の宝石店にない庶民的雰囲気をかもし出している。それは街全体が水晶の研磨加工技術を永年にわたって高め育んでいることによるが 市街地北方の御岳昇仙峡から長野県境金峰山にかけて多産する良質の水晶を原料として利用することができたからである。

鉱物図鑑中の日本式双晶・両錐水晶・草入り水晶・曲がり水晶・平板水晶・緑石英などには 必ずといっていいほど金峰山系(乙女鉱山・水晶峠・八幡山)から発見された結晶が登場する。この大型水晶もそのなかの一つで 上黒平集落北方の八幡山付近から藤原弥次氏らによって採掘されている。もう何10年も昔のことである。 花崗岩山地に横坑で8m進みそこから立坑で5m掘り下がった所で 直径130cm長さ400cmの巨大晶洞に当たった。この大型水晶はその晶洞のなかにつまっていた砂(恐らく風化花崗岩)に埋まっていたと藤原氏は語っている。発見・発掘まで同氏家族やかかわった人達には 悲喜こもごものドラマが生まれていたことであろう(本文「地質標本館だより「結晶のしくみ」参照)。

(文 服部 仁 写真 正井義郎)

海洋特集

海洋地質部の研究の概要

深海底鉱物資源に関する地質学的研究
昭和58年度研究航海(GH83-3)

日本周辺海域の海洋地質調査活動
—58年度の白嶺丸による調査航海—

海成礫灰土鉱床研究の現状